

北海道上士幌町初記録のカワラバッタ

田中 愛梨¹⁾New record of *Eusphingonotus japonicas* (Saussure, 1888)
(Orthoptera: Acrididae) in Kamishihoro, Hokkaido, JapanAiri TANAKA¹⁾

Abstract

I report distribution record of *Eusphingonotus japonicas* (Saussure, 1888) (Orthoptera: Acrididae), which live specifically in the bank gravel in the early stage of vegetation succession, in Kamishihoro and the around, Hokkaido, Japan. It is new record of *E. japonicas* in Kamishihoro. In Tokachi, many rivers were flood and vegetation on river beaches was disturbed by heavy rain with typhoons at August 2016. It is possible that the disturbance have made habitat favored *E. japonicas*.

はじめに

カワラバッタ *Eusphingonotus japonicas* (Saussure, 1888) (直翅目, バッタ科) は植被の小さい礫河原に生息する (竹内・藤田 1998, 野村・倉本 2005). 本州では河川環境の変化に伴って数を減らしていることが指摘され (竹内・藤田 1998), 都道府県のレッドリストでは3県で絶滅, 10都県で絶滅危惧I類として掲載されている (日本のレッドデータ検索システム, 2022年3月6日閲覧). 北海道ではレッドリストへの掲載はないが, 西島 (1990) では「道内でもかなり広く分布している」とされる一方で, 他の文献では道東における産地が清水町と中札内村にしかない希少直翅目と紹介されており (飯島 2004), 分布には不明点が多い.

上士幌町の直翅目は, 20年にわたる採集記録として須田 (2015), 上士幌町を含む大雪山国立公園の文献記録として保田 (2014) にまとめられているが, これらにカワラバッタは掲載されていなかった. 今回, 上士幌町内で本種が確認されたため, その周辺市町村での記録と併せて報告する. なお, 本記録によって上士幌町で確認された直翅目昆虫は31種となる.

記録

Eusphingonotus japonicas (Saussure, 1888) カワラバッタ (図 1A–F)

Specimens examined: Japan, Hokkaido, Kamishihoro-chô, Kamishihoro, Otofukegawa River, 2♂4♀, 29 Aug., 2020, Y. Oppata; Kamishihoro-chô, Kamishihoro, Kôkû-kôen Park, 1♂2♀, 23 Aug., 2021, Y. Oppata; 6♂3♀, Undisclosed collectors; Kamishihoro-chô, Higashioribe, Oribegawa River, 4♀, 3 Sept., 2021; 1♂1♀, 17 Sept., 2021; 1♂, 19 Sept., 2021; 2♂3♀, 23 Sept., 2021, A. Tanaka; Kamishihoro-chô, Nukabira, 1♀, 21 Aug., 2021, A. Tanaka; Shihoro-chô, Hyakko, 1♂1♀, 1 Sept., 2021, Y. Oppata; Otofuke-chô, Higashishikari, Shikaribetsugawa River, 2♂3♀, 23 Sept., 2021, A. Oppata; Otofuke-chô, Shikaribashi Bridge, Shikaribetsugawa River, 1♀, 2 Nov., 2014, No collector data.

Photograph records (Recorder: Y. Oppata): Japan, Hokkaido, Kamishihoro-chô, Kamishihoro, Kôkû-kôen Park, Otofukegawa River, 24, Aug., 2020 (Fig. 1B); Shintoku-chô, Shinkiyobashi Bridge, Tokachigawa River, 21 July, 2021 (Fig. 1C); Nakasatsunai-mura, Kamisatsunaibashi Bridge, Satsunaigawa River, 15 Aug., 2021 (Fig. 1D); Ashoro-chô, Metôgawa River, 15 Sept., 2021 (Fig. 1E); Ashoro-chô, Biribetsugawa River, 16 Oct., 2020 (Fig. 1F).

十勝の採集記録: 清水町清水大橋 (飯島 2004), 中札内村上札内橋 (飯島 2004), 十勝川・札内川・戸蔭別川 (標本情報なし) (西島 1990).

備考

本種の生息適地は礫河原で, 好適環境の維持には洪水などによる定期的な攪乱を必要とすることが予想される. 十勝では2016年8月の北海道豪雨によって多数の河川が

1) ひがし大雪自然館 〒080-1403 北海道河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 48-2

Higashitaisetsu Nature Center, 48-2 Nukabira-gensenkyo, Kamishihoro-cho, Kato-gun, Hokkaido 080-1403, Japan

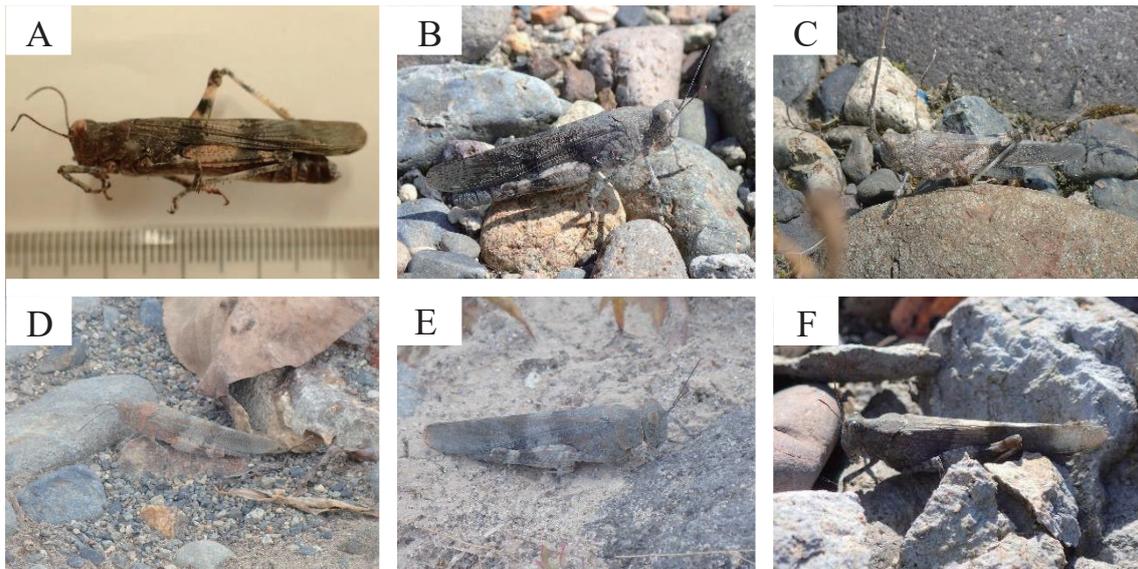


Fig.1 Specimen and ecological photographs of *E. japonicas*.

A: Specimen from Higashioribe, Kamishihoro. B: Kamishihoro-chô, Kôkû-kôen Park, Otofukegawa River (Data: 24 Aug., 2020). C: Shintoku-chô, Shinkiyobashi Bridge, Tokachigawa River (Data: 21 July, 2021). D: Nakasatsunai-mura, Kamisatsunaibashi Bridge, Satsunaigawa River (Data: 15 Aug., 2021). E: Ashoro-chô, Metôgawa River (Data: 15 Sept., 2021). F: Ashoro-chô, Biribetsugawa River (Data: 16 Oct., 2020).

増水、本報告における記録地の音更川や札内川などを含む十勝川水系の河川でも水害が発生した。少なくとも上士幌町音更川および居辺川において本種が最初に発見されたのは2016年以降であり、この大規模攪乱が本種の生息適地を生み出し分布を拡大させた可能性が高い。なお、上士幌町航空公園音更川で本種が発見されたのは2020年が初だが、その時点ですでに多産していたという。同地では翌年も個体数が多く、大規模な集団を作っていた。居辺川においては、上士幌町と士幌町の境界部付近の士幌町側で少なくとも2016年台風発生以前から目撃されていたが、上士幌町側で生息が確認されたのは2021年が初である。生息適地発生前後の本種の行動と、侵入から定着するまでのプロセスは不明であるため、一連の流れがどのように行われているのかを今後調査する必要がある。

特筆すべきは上士幌町糠平のひがし大雪自然館職員駐車場コンクリート上で1♀が採集されたことである。採集地およびその周辺には本種の生息地となる河原や礫地は存在しないため、この個体は他の生息地から移動してきた可能性が高い。自力で移動してきたならば、本種は草地に立ち入らない習性を持つことから(伊藤ほか1977)、音更川の河原を伝ったと考えられる。しかし採集地に最も近い生息地である上士幌町航空公園からは音更川沿いに約21 km離れており、その間には糠平ダムと元小屋ダムの二つのダムおよび糠平湖があるために河原が消失している区間がある。カワラバタの移動距離は最大2 kmに満たないことから(野村・倉本2005)、自力での移動は困難と考えられる。したがってこの個体は人為的に移

動された可能性が高い。

謝辞

ひがし大雪自然館の乙幡康之学芸員には採集にご協力いただき、採集個体および写真とその地の情報を提供いただいた。帯広畜産大学の学芸員実習生の方々には採集にご協力いただいた。ここに記し感謝申し上げます。

引用文献

- 飯島一雄, 2004. 北海道東部産希少直翅目. 標茶町郷土資料館報告, **16**: 139-140.
- 伊藤修二郎・奥谷慎一・日浦 勇, 1977. 全改訂新版 原色日本昆虫図鑑(下). 保育社.
- 須田 修, 2015. 上士幌町から記録された直翅目. ひがし大雪自然館研究報告, **2**: 15-21.
- 竹内将俊・藤田 裕, 1998. 神奈川県におけるカワラバタ *Eusphingonotus japonicas* (Saussure) の生息地の状況. 日本応用動物昆虫学会誌, **42**(4): 197-200.
- 西島 浩, 1990. 北海道の直翅目(続) (付ナナフシ目). 北海道の自然と生物, **2**: 14-20.
- NPO法人野生生物調査協会・NPO法人Envision環境保全事務所. 日本のレッドデータ検索システム. <http://jpnrdp.com/index.html> (2022年3月6日閲覧).
- 野村康弘・倉本 宣, 2005. 多摩川におけるカワラバタの分布状況と生息地間ネットワークに関する研究. 環境システム研究論文集, **33**: 73-78.